



ご挨拶

今年もたくさんの方にご参加いただき、誠に嬉しく思います。昨年に比べ、今年は多くの学部にご参加いただき、より一層様々な角度から議論が行われるのではないかと楽しみです。

また多くの方の支援により今年で4回目を迎えることが出来ました。答えのない研究テーマに対し、自身の考えを導くことはこれから社会に出ていくにあたり大切な機会であると考えております。今回のシンポジウムが皆様にとって有意義な時間になれば幸いです。

駒澤大学「学生シンポジウム」担当：経済学部3年 後藤順基

趣旨

私たちが「学生シンポジウム」を開催する趣旨は大きく分けて2つです。

第1に学生として自分たちの研究を深めつつ、様々な学問分野に対する教養を身に付けることです。近年の複雑化している社会にあって、私たち学生は他の学問に目を向けずに、自分たちが学んでいる専門分野だけに目を向けていけばよいのでしょうか。

「学生シンポジウム」を通して、他学部の学問研究や視点に刺激を受けると同時に自らの見聞を広げることで、各々の学部で取り組んでいる学生個々の知識や教養はより洗練されていくのではないかと考えます。

第2に駒澤大学を学問という観点から盛り上げていくためです。単なる行事ごとのような一過性のものではありません。学問の追求を行う大学という機関が求めることを具現化したようなこの試みが、今後5年、10年と続いていけば1歩ずつでも大学生の学問への取り組みは改善に繋がるでしょう。何よりも学生が主体となり、大学側と連携をとって学校を盛り上げていくこの姿こそ、世間が大学、そして学生に求める「在るべき姿」だと私たちは考えました。

上記の理由から私たちは今年度も全学部規模の「学生シンポジウム」を開催致します。

Program

【日程】 2018年11月11日（日）

【時間】 11：00～ 開場及び受付開始時間

12：30～ 開会式

13：00～ 発表開始時間

【場所】 開会式: (3号館 207)

発表場所: (3号館 601,602,603,604,701,702,703)

【受付場所】

3号館 207 教場

各分科会のテーマ

「多文化共生」「格差」「金融」「企業・労働」「テクノロジー」「政策・政治」

◇ 参加団体

経済学部(明石ゼミ、福島ゼミ、姉齒ゼミ、代田ゼミ、田中ゼミ、山中ゼミ、
小倉ゼミ、深見ゼミ、堀内ゼミ、長山ゼミ、宮田ゼミ、北條ゼミ、
小西ゼミ)

法学部 (山崎ゼミ、富崎ゼミ)

経営学部(鹿嶋ゼミ、菅野ゼミ)

GMS学部(山口ゼミ)

◇ タイムスケジュール

| 時間 | 内容 | 場所 |
|-------------|----------------|---------------------------------------|
| 12：30 | 開会式 | 3号館 207 |
| 13：00～13：35 | 1 チーム目：発表・質疑応答 | 3号館 601,602,603,604 701,702,703 |
| 13：45～14：20 | 2 チーム目〃 | |
| 14：30～15：05 | 3 チーム目〃 | |
| 15：15～15：50 | 4 チーム目〃 | |
| 16：00～16：35 | 5 チーム目〃 | |
| 16：45～17：20 | 6 チーム目〃 | |
| 17：40～18：40 | 懇親会 | 学生食堂 1階 |
| 18：40～ | 閉会式 | |

※発表時間は20分、質疑応答は15分、計35分となります。

※質疑応答終了毎に10分間の休憩をはさみます。

◇ 会場説明



◇ 3号館内会場配置

| | | | |
|-----|-------|-----|--------|
| 6階 | | 7階 | |
| 601 | 多文化共生 | 701 | テクノロジー |
| 602 | 格差 | 702 | 地方創生 |
| 603 | 金融 | 703 | 政策・政治 |
| 604 | 企業・労働 | | |

分科会テーマ目次

| | |
|----------------|----|
| 「多文化共生」 | 5 |
| 「格差」 | 8 |
| 「金融」 | 11 |
| 「企業・労働」 | 13 |
| 「テクノロジー」 | 16 |
| 「地方創生」 | 19 |
| 「政策・政治」 | 22 |

「多文化共生」

教場 3-601

| 時間 | 内容 |
|-------------|--------------------------|
| 13:00~13:35 | 経済学部 姉齒ゼミ 差別班 |
| 13:45~14:20 | 法学部 山崎ゼミ 多文化共生班 |
| 14:30~15:05 | 経済学部 田中ゼミ ドイツ移民・難民問題班 |
| 15:15~15:50 | 経済学部 田中ゼミ BREXIT 班 |
| 16:00~16:35 | 経済学部 姉齒ゼミ 日韓関係班 |
| 16:45~17:20 | 経済学部 北條ゼミ 移民政策班 |

各ゼミ趣意文（要約）

| | | |
|--|--------------|-----------|
| ゼミ名： 姉齒ゼミ | チーム名： 差別班 | 人数： 4人 |
| <p>概要：</p> <p>在日コリアンに対する国内の差別問題及びヘイトスピーチの問題について議論したい。 在日コリアンが社会的、経済的な差別にさらされてきたという事実を歴史的な見地に立って検証し、こうした差別やヘイトスピーチをどう考えるべきかを示し、今後、日本で共生社会が形成されるためにはどのようなことが必要かを議論したい。</p> | | |
| <p>当日どのようなテーマで議論したいか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在日コリアンに対する偏見問題 ・今後日本が共生社会を目指すうえで何をしていくべきなのか | | |

| | | |
|--|-----------------|-----------|
| ゼミ名： 山崎ゼミ | チーム名： 多文化共生班 | 人数： 7人 |
| <p>概要：</p> <p>私たちは多文化共生について注目しました。2020年に行われる東京オリンピックにおいて、多くの外国人が日本を訪れることが予想されますが、現在、在日コリアンなどのマイノリティに対するヘイトスピーチや、移民問題が問題視されています。在日外国人、訪日外国人、移民と共生していくためにはどのような対処法が必要なのか。現在の状況と考えられる原因を分析しながら、解決策・対処法について考察していきます。</p> | | |
| <p>当日どのようなテーマで議論したいか</p> <p>多文化共生について議論したいです。</p> | | |

| | | |
|---|----------------------|-----------|
| ゼミ名： 田中ゼミ | チーム名： ドイツ移民・難民問題班 | 人数： 3人 |
| <p>概要：</p> <p>私たちはドイツの移民難民問題について注目しました。戦後、ドイツは多くの移民・難民を受け入れ、色んな問題を抱えてきました。では、なぜドイツは移民・難民の受け入れが多いのか、それによる利点や問題点、対処法は何なのか発表します。</p> | | |
| <p>当日どのようなテーマで議論したいか</p> <p>ドイツの移民・難民の問題について議論したいです。</p> | | |

| | | |
|---|-------------------|-----------|
| ゼミ名： 田中ゼミ | チーム名： BREXIT 班 | 人数： 3人 |
| <p>概要：</p> <p>私たちは BREXIT について注目しました。特に BREXIT の発生してしまった原因やそれによる諸影響について調べ、発表したいと思います。</p> | | |
| <p>当日どのようなテーマで議論したいか</p> <p>原因、影響を議論したいです。</p> | | |

| | | |
|--------------|----------------|-----------|
| ゼミ名： 姉齒ゼミ | チーム名： 日韓関係班 | 人数： 4人 |
|--------------|----------------|-----------|

| | | |
|--|----------------|-----------|
| ゼミ名： 北條ゼミ | チーム名： 移民政策班 | 人数： 2人 |
| <p>概要：</p> <p>私たち北條ゼミは移民政策をテーマとして取り上げます。日本はなぜ移民政策を取らないのか、移民政策を取ったら何が問題なのか、ということ进行分析していきます。そして、移民政策を取るべきか取らないべきかの考察を行います。</p> | | |
| <p>当日どのようなテーマで議論したいか</p> <p>日本の政策、社会問題など</p> | | |

概要：

私たちは、日本が戦前に行った朝鮮半島に対する植民地政策の日本と韓国に与えた影響を中心に研究しています。日本は過去に、朝鮮半島を侵略し、思想統制、強制的な戦時動員を行い、現地の政治、文化に深刻な影響を与えました。朝鮮半島における南北分断は日本の占領政策に原因があるといっても過言ではありません。しかし、現在の日本社会でその事実を正しく認識している人は少なくなっています。今年は朝鮮半島情勢が大きく変化した年です。私たちはこの機会に日本と韓国の間を歴史を皆さんと共有し、それについて議論したいと思っています。

当日どのようなテーマで議論したいか

- ・これらの過去を知った上で、私たち学生ができる事・役割とは何か。
- ・なぜ日本で正しい歴史認識がされなくなったのか。その影響についても考えたい。

「格差」

教場 3-602

| 時間 | 内容 |
|-------------|------------------------|
| 13:00~13:35 | 経済学部 堀内ゼミ タックスヘイブン班 |
| 13:45~14:20 | 経済学部 福島ゼミ 支援班 |
| 14:30~15:05 | 法学部 山崎ゼミ 新自由主義班 |
| 15:15~15:50 | 経済学部 宮田ゼミ 子供の貧困班 |
| 16:00~16:35 | 経済学部 山中ゼミ タックスヘイブン班 |
| 16:45~17:20 | 経済学部 小倉ゼミ アメリカ格差班 |

各ゼミ趣意文（要約）

| | | |
|--------------|--------------------|-----------|
| ゼミ名： 堀内ゼミ | チーム名： タックスヘイブン班 | 人数： 5人 |
|--------------|--------------------|-----------|

| |
|---|
| <p>概要：</p> <p>タックスヘイブンは、確実に存在し、世界中の企業、富裕層が税逃れのために利用している。この問題は見過ごすべきではなく、対抗策を考える必要がある。</p> |
| <p>当日どのようなテーマで議論したいか</p> <p>タックスヘイブンをなくすにはどんな法制度を整えるべきか</p> |

| | | |
|---|--------------|-----------|
| ゼミ名： 福島ゼミ | チーム名： 支援班 | 人数： 4人 |
| <p>概要：</p> <p>「支援」とは本来、被支援国の発展を促すものであるべきです。しかし先入観や過度な支援により、途上国の発展を妨げている現状があることも事実です。支援する側と支援される側との間で認識の差が発生しているのです。私たちは今回、中南米の一つでありアメリカからの無責任な支援やNGOが多く存在しているハイチに焦点を当てて、支援国側と被支援国側の問題を考えた上で、ハイチが本当に必要としている支援を考えました。</p> | | |
| <p>当日どのようなテーマで議論したいか</p> <p>ハイチへの支援の現状を踏まえた上で、本来あるべき支援の形について議論できれば幸いです。</p> | | |

| | | |
|--|-----------------|-----------|
| ゼミ名： 山崎望ゼミ | チーム名： 新自由主義班 | 人数： 8人 |
| <p>概要：</p> <p>私たちは新自由主義について注目する。新自由主義に基づく経済の自由競争により、世界で1年間に生み出された富（保有資産の増加分）のうち82%を世界で最も豊かな上位1%が独占し、経済的に恵まれない下から半分（37億人）は財産が増えない、という状況が生まれている。これに対して没落しつつある中間層や貧困層で様々な形の反発が広がっている。格差および貧困を縮めるには、どうすれば良いのか、について検討したい。</p> | | |
| <p>当日どのようなテーマで議論したいか</p> <p>格差および貧困について議論したい</p> | | |

| | | |
|--|-----------------|-----------|
| ゼミ名： 宮田ゼミ | チーム名： 子供の貧困班 | 人数： 4人 |
| <p>概要：</p> <p>今日、子供の貧困が問題視されているが、なぜ子供の貧困率は上昇したのか、また貧困の連鎖を解消するためにはどのようにすればよいのだろうか。私たちのグループでは、日本における子供の貧困の現状や原因、その解決に向けた取り組み（政策等）について明らかにする。</p> | | |
| <p>当日どのようなテーマで議論したいか</p> <p>上記のテーマに即し、貧困の現状や原因、その解決（政策等）などについて議論を行いたい。</p> | | |

| | | |
|---|--------------------|-----------|
| ゼミ名： 山中ゼミ | チーム名： タックスヘイブン班 | 人数： 6人 |
| <p>概要：</p> <p>2018年現在、世界の「上位1%」の超富裕層が世界の富のおよそ半分を独占するなか、各地で経済格差が拡大しています。その背景には貧しい者を周縁に追いやり、富める者がよりいっそう富を蓄えるためのグローバルな仕組み（構造）がありました。その一つがタックスヘイブンです。具体的な事例を取り上げながらタックスヘイブンの現状と課題そして今後の対策などを紹介したいと思います。</p> | | |
| <p>当日どのようなテーマで議論したいか</p> <p>「タックスヘイブンと日本」、また「タックスヘイブンとアフリカ」という視点から議論したいです。</p> | | |

| | | |
|---|------------------|-----------|
| ゼミ名： 小倉ゼミ | チーム名： アメリカ格差班 | 人数： 8人 |
| <p>概要：</p> <p>アメリカは人種格差、州による地域格差など様々な独自の格差をもつ国である。私たちは、その格差の中でも大学進学時の格差について注目した。大学で学問を習得することは格差縮小につながるのか、それともアメリカの大学は格差を拡大する装置なのだろうか。アメリカの大学の現状を調べ、日本の大学システムとの比較も加えながら、大学の存在意義を問いていきたい。</p> | | |
| <p>当日どのようなテーマで議論したいか</p> <p>格差問題</p> | | |

「金融」

教場 3-603

| 時間 | 内容 |
|-------------|--------------------|
| 13:00~13:35 | 経済学部 代田ゼミ 銀行班 |
| 13:45~14:20 | 経済学部 深見ゼミ 投資信託班 |
| 14:30~15:05 | 経済学部 深見ゼミ 証券市場班 |
| 15:15~15:50 | 経済学部 代田ゼミ 仮想通貨班 |
| 16:00~16:35 | 経済学部 宮田ゼミ 金融班 |

各ゼミ趣意文（要約）

| | | |
|--------------------------------------|--------------|-----------|
| ゼミ名： 代田ゼミ | チーム名： 銀行班 | 人数： 7人 |
| 概要： 日本の銀行経営について ATM を交えて分析していきます。 | | |
| 当日どのようなテーマで議論したいか 銀行と ATM | | |

| | | |
|---|----------------|-----------|
| ゼミ名： 深見ゼミ | チーム名： 投資信託班 | 人数： 8人 |
| <p>概要：</p> <p>金融庁は「貯蓄から資産形成へ」をスローガンに掲げ、投資への流れを起こそうとしました。しかし、現在の日本において家計金融資産は預貯金に偏重しており、投資信託が家計の資産形成手段として選択されていない。そこで、投資信託の歴史・規制や、市場の歩みから系列関係が引き起こす手数料や商品性など現在の問題を明らかにする。そして、家計の資産形成手段として選択されるような相応しい投資信託の在り方について考察する。</p> | | |
| <p>当日どのようなテーマで議論したいか</p> <p>金融政策問題・利益相反問題について</p> | | |

| | | |
|---|--------------------|-----------|
| ゼミ名： 深見ゼミ | チーム名： 証券市場の活性化班 | 人数： 6人 |
| <p>概要：</p> <p>証券市場には発行と流通の2つの市場が存在するが、その両輪がバランスよく機能しなければ、活性化することが出来ない。このような点から我々は、個人投資家の参入が市場の活性化につながると考えているが、実際のところ個人投資家の増加にはつながっていないため、証券市場の歩み・株価形成の歪さ・株主の権利などの原因を明らかにすることで、個人投資家の参入を促すような提案を考えていく。</p> | | |
| <p>当日どのようなテーマで議論したいか</p> <p>金融問題について</p> | | |

| | | |
|---|----------------|-----------|
| ゼミ名： 代田ゼミ | チーム名： 仮想通貨班 | 人数： 8人 |
| <p>概要：</p> <p>私たちは仮想通貨について焦点を当てました。2017年ごろから、メディアで取り上げられることが多くなった仮想通貨ですが、2009年には現在の仮想通貨のかたちはすでに出て上がっていました。そこで、仮想通貨の今までに引き起こしてきた影響、問題、政府の対応について紹介し、それを踏まえた仮想通貨の将来性について検討します。</p> | | |
| <p>当日どのようなテーマで議論したいか</p> <p>仮想通貨は本当に安全なものか（買っても良いものか）について議論したいです。</p> | | |

| | | |
|---|--------------|-----------|
| ゼミ名： 宮田ゼミ | チーム名： 金融班 | 人数： 5人 |
| <p>概要：</p> <p>日本では2013年以降、現在に至り、アベノミクスの異次元金融緩和が継続されている。これは歴史上経験したことのない規模の緩和政策である。しかしながら、2年以内に物価上昇率2%という目標を達成できなかったばかりか、国民生活にもそれが具体的な効果をもたらしているとはいえない。そこで、私たちのグループでは、アベノミクスの金融政策の問題点やその是非について検証する。</p> | | |
| <p>当日どのようなテーマで議論したいか アベノミクスの金融政策について議論を行いたい。</p> | | |

| |
|----------------|
| 「企業・労働」 |
| 教場 3-604 |

| 時間 | 内容 |
|-------------|---------------------------|
| 13:30~13:35 | 経済学部 宮田ゼミ ブラック企業班 |
| 13:45~14:20 | 経営学部 菅野ゼミ コンビニ比較班 |
| 14:30~15:05 | 経営学部 鹿嶋ゼミ 労働時間とキャリア班 |
| 15:15~15:50 | 経済学部 明石ゼミ インターン班 |
| 16:00~16:35 | 経営学部 菅野ゼミ 広告班 |
| 16:45~17:20 | GMS 学部 山口ゼミ メディアとスポーツ班 |

各ゼミ趣意文（要約）

| | | |
|--------------|------------------|-----------|
| ゼミ名： 宮田ゼミ | チーム名： ブラック企業班 | 人数： 5人 |
|--------------|------------------|-----------|

| |
|--|
| <p>概要：</p> <p>私たちのグループではブラック企業について検討します。今日、電通などの過労死事件に顕著に現れているように、長時間労働やハラスメント、過剰なノルマなど、日本の労働環境は劣化の一途をたどっています。そこで私たちは、ブラック企業がなぜ、どのようにして生まれてきたのか、またその解消に向けどのような取り組み（対策等）があり得るのかについて明らかにします。</p> |
| <p>当日どのようなテーマで議論したいか</p> <p>ブラック企業を含む労働問題が生まれる原因や取り組み等について議論したいです。</p> |

| | | |
|--|------------------|-----------|
| ゼミ名： 菅野ゼミ | チーム名： コンビニ比較班 | 人数： 6人 |
| <p>概要：</p> <p>私達はコンビニ比較というテーマについて勉強しました。セブンイレブンやファミリーマートなどいくつかのコンビニがある中で、それぞれのコンビニのマーケティングを調べ、比較して、消費者がなぜそのコンビニを利用するのかについて研究し発表したいと思います。</p> | | |
| <p>当日どのようなテーマで議論したいか</p> <p>コンビニのマーケティングについて議論したいです。</p> | | |

| | | |
|---|-------------------|-----------|
| ゼミ名： 鹿嶋ゼミ | チーム名： 労働とキャリア班 | 人数： 7人 |
| <p>概要：</p> <p>私たちは労働時間とキャリア形成について注目してみました。労働時間の短縮が目指されている中で、従来のキャリアアップや能力アップとの労働時間の関係を見ていくと同時に、短時間労働へ移行していくときに労働時間が短くなったとしても従来通りのキャリア形成ができるのかどうか考察する。</p> | | |
| <p>当日どのようなテーマで議論したいか</p> <p>労働時間とキャリア形成</p> | | |

| | | |
|--------------|-----------------|-----------|
| ゼミ名： 明石ゼミ | チーム名： インターン班 | 人数： 5人 |
|--------------|-----------------|-----------|

| |
|--|
| <p>概要：</p> <p>近年、学生のインターンシップ参加率が高まってきています。そこで私たちは現在インターンシップを行う企業の狙い、意味合いの変化を調べ、近年の日本におけるインターンシップの特徴と就職への影響を考察していきます。</p> |
| <p>当日どのようなテーマで議論したいか</p> <p>インターン・就職</p> |

| | | |
|--|-------------------------|----------------------|
| <p>ゼミ名：</p> <p>菅野ゼミ</p> | <p>チーム名：</p> <p>広告班</p> | <p>人数：</p> <p>5人</p> |
| <p>概要：</p> <p>私たち広告について注目しました。近年、テレビCMや動画広告はインパクトが強く、一度見たら忘れられないものが多く存在する。そこで、私たちはその様な広告にスポットを当てこれらに共通するものは何なのか。そして、どうしたら消費者に影響を与える事ができるのかについて考えていきたい。</p> | | |
| <p>当日どのようなテーマで議論したいか</p> <p>どのような広告が印象に残るのか議論していきたいと思います。</p> | | |

| | | |
|--|--------------------------------|----------------------|
| <p>ゼミ名：</p> <p>山口ゼミ</p> | <p>チーム名：</p> <p>メディアとスポーツ班</p> | <p>人数：</p> <p>5人</p> |
| <p>概要：</p> <p>近年、スポーツは世界的に人々の生活と切り離されないものとなり、文化の一つとなっている。それと同時にメディアに露出する機会も増えている。特にアスリートの発言や行動はメディアに取り上げられる。アスリートがよりよくスポーツに取り組むためには、メディアとの理想の関係はどんなものだろうか。</p> | | |
| <p>当日どのようなテーマで議論したいか</p> <p>メディアに取り上げられる若手選手のインタビューに対するトレーニングの仕方や選手に対するメディアのインタビューの内容、メディアに取り上げられやすい選手の特徴アスリート選手のSNSの利用の仕方などからスポーツとメディアの理想の関係を考え</p> | | |

る。

「テクノロジー」

教場 3-701

| 時間 | 内容 |
|-------------|---------------------------|
| 13:00~13:35 | 経済学部 小西ゼミ アジア班 |
| 13:45~14:20 | 経済学部 代田ゼミ フィンテック班 |
| 14:30~15:05 | 経営学部 鹿嶋ゼミ AI と労働班 |
| 15:15~15:50 | 経済学部 小西ゼミ Fin Tech 班 |
| 16:00~16:35 | 経営学部 菅野ゼミ 第四次産業班 |
| 16:45~17:20 | GMS 学部 山口ゼミ e-sports 班 |

各ゼミ趣意文（要約）

| | | |
|--|---------------|-----------|
| ゼミ名： 小西ゼミ | チーム名： アジア班 | 人数： 2人 |
| 概要： タオバオの視点から、オンライン販売と実店舗の関連性を検討する。 オンライン小売業がオムニチャネルを重視する可能性、実店舗を持つ小売業がオムニチャネルを実現する両可能性の両方について発表します。 | | |
| 当日どのようなテーマで議論したいか 1. オンライン 2. 小売業 3. 流通業 4. アジア | | |

| | | |
|--|------------------|-----------|
| ゼミ名： 代田ゼミ | チーム名： フィンテック班 | 人数： 7人 |
| 概要： 私たちは今、スマートフォンの普及により、日本で話題になっているフィンテックについて注目しました。金融と情報技術を組み合わせて生まれた言葉であるフィンテックとは、具体的にどのようなものなのか、またフィンテックが今後の日本の経済や社会において及ぼす影響や直面する課題について明らかにしていきたいと思えます。 | | |
| 当日どのようなテーマで議論したいか フィンテックについて議論していきたいです。 | | |

| | | |
|---|------------------|-----------|
| ゼミ名： 鹿嶋ゼミ | チーム名： AI と労働班 | 人数： 6人 |
| 概要： 私たちは、AI が与える影響に注目する際、生産性の効率化や短時間労働、週休増加などに焦点が集まりがちだが、一方で、雇用の消失や不安定化、労働時間短縮による賃金の低下など、発生しうるデメリットにも目を背けてはいけない。将来起こりうる労働問題を紐解き、AI の普及において注意すべき点を考察する。 | | |
| 当日どのようなテーマで議論したいか 将来の労働市場の変化 | | |

| | | |
|--|---------------------|------------|
| ゼミ名： 小西ゼミ | チーム名： Fin Tech 班 | 人数： 2 人 |
| <p>概要：</p> <p>私たちは FinTech 技術の 1 つであるロボアドバイザーと、金融業界での長年の課題である利益相反問題に注目しました。少額から気軽に投資への参入を可能にした、ロボアドバイザーが出現してきたことによる、メリット、デメリット、利益相反問題を解決できるのかということについて発表します。</p> | | |
| <p>当日どのようなテーマで議論したいか</p> <p>証券、FinTech</p> | | |

| | | |
|--|-------------------|------------|
| ゼミ名： 菅野ゼミ | チーム名： 第 4 次産業班 | 人数： 5 人 |
| <p>概要：</p> <p>私たちのグループは、第 4 次産業に注目しました。</p> <p>「機械化」「大量生産」「自動化」の技術革新に続き、大量のデータの取得・分析・実行が可能になる第 4 次産業革命。その新技術である IoT (モノのインターネット)、AI (人工知能)、ロボットなどは、私たち消費者の行動や社会にどのような影響を及ぼすのかを考えていきます。</p> | | |
| <p>当日どのようなテーマで議論したいか</p> <p>これから先、人間と AI の共存は避けられないものになると考えられます。問題点もある中で、どのように共存していきたいかを議論したいです。</p> | | |

| | | |
|--|---------------------|------------|
| ゼミ名： 山口ゼミ | チーム名： e-sports 班 | 人数： 3 人 |
| <p>概要：</p> <p>海外の発展に一步遅れる形になってしまった日本の e-sports について調査し、今後の日本の e-sports のあり方や発展の可能性などについて模索することに取り組んでいます。また海外の e-sports についても研究し、どのような発展を遂げたか、日本においてその発展の仕方をなせることは有効であるか。等の議論も行います。</p> | | |
| <p>当日どのようなテーマで議論したいか</p> <p>e-sports の「スポーツ化」は日本で受け入れられるか？</p> | | |

「地方創生」

教場 3-702

| 時間 | 内容 |
|-------------|-----------------------|
| 13:00~13:35 | 経済学部 長山ゼミ 産地の活性化班 |
| 13:45~14:20 | 経済学部 明石ゼミ I・U ターン班 |
| 14:30~15:05 | 経済学部 明石ゼミ 地域経済班 |
| 15:15~15:50 | 経済学部 堀内ゼミ テーマパーク班 |
| 16:00~16:35 | 経営学部 鹿嶋ゼミ 高齢者労働班 |

各ゼミ趣意文（要約）

| | | |
|--------------|------------------|-----------|
| ゼミ名： 長山ゼミ | チーム名： 産地の活性化班 | 人数： 7人 |
|--------------|------------------|-----------|

| |
|---|
| <p>概要：</p> <p>私たちは地域の活性化をテーマに活動しています。衰退している地域経済の現状を把握し、地域を再生するためには何が必要なのかを模索し、研究しています。今年度は夏合宿にて愛知県常滑市（陶磁器の地場産業産地）に足を運び、研究を行います。産地のブランド化戦略を軸とした地域活性化案を紹介します。</p> |
| <p>当日どのようなテーマで議論したいか</p> <p>地域</p> |

| | | |
|--|------------------|-----------|
| ゼミ名： 明石ゼミ | チーム名： I・Uターン班 | 人数： 5人 |
| <p>概要：</p> <p>私たちは地域活性化におけるIターン・Uターンの重要性について注目しました。増田レポートによって地方消滅が指摘され、様々な地域で地方創生がなされている中で、私たちは、地域内資源を活用したバイオマス産業に注目しました。バイオマス産業による地域活性化からIターン・Uターン者増加に繋げる方法を紹介していきます。</p> | | |
| <p>当日どのようなテーマで議論したいか</p> <p>地域活性化について議論したいです。</p> | | |

| | | |
|---|----------------|-----------|
| ゼミ名： 明石ゼミ | チーム名： 地域経済班 | 人数： 5人 |
| <p>概要：</p> <p>私たちは地域経済について注目しました。地域内でどれだけ経済(お金)が循環しているのか？地域内部で発生したお金が地域外にどれだけ流出しているのか？それを防ぐためになにをすべきなのか？地域外に頼ってその地域本来の良さは失われていないか？その実態について紹介致します。</p> | | |
| <p>当日どのようなテーマで議論したいか</p> <p>どうやったら地域内にお金を循環させることができるのか議論したいです。</p> | | |

| | | |
|---|------------------|-----------|
| ゼミ名： 堀内ゼミ | チーム名： テーマパーク班 | 人数： 6人 |
| <p>概要：</p> <p>現在、テーマパーク業界がどれくらいの収益を出しているかを明らかにし、テーマパークを新設することでどれほどの経済効果を与えるか、立地、運営、消費、雇用誘発の分野に分け明らかにする。その結果からテーマパーク業界が、日本経済を成長させる可能性があるか主張していく。</p> | | |
| <p>当日どのようなテーマで議論したいか</p> <p>日本経済を成長させる業界はあるのか</p> | | |

| | | |
|---|-----------------|-----------|
| ゼミ名： 鹿嶋ゼミ | チーム名： 高齢者労働班 | 人数： 7人 |
| <p>概要：</p> <p>私達は高齢者雇用について注目してみました。少子高齢化が進む日本において高齢者雇用は今後ますます重要な課題となってきます。高齢者雇用促進と言われている中、なぜ進まないのか導入している企業としていない企業との比較や企業側と労働者側双方の高齢者雇用に対する意見を集め、促進に向けた改善策を見つけていきたいと思っています。</p> | | |
| <p>当日どのようなテーマで議論したいか</p> <p>高齢者雇用について議論したいです。</p> | | |

「政策・政治」

教場 3-703

| 時間 | 内容 |
|-------------|-----------------------|
| 13:00~13:35 | 法学部 山崎ゼミ ポピュリズム班 |
| 13:45~14:20 | 経済学部 姉齒ゼミ 韓国民主化運動班 |
| 14:30~15:05 | 経済学部 堀内ゼミ 貧困班 |
| 15:15~15:50 | 法学部 富崎ゼミ 企業・団体献金班 |
| 16:00~16:35 | 経済学部 福島ゼミ 日本の石油班 |
| 16:45~17:20 | 経済学部 深見ゼミ 金融リテラシー班 |

各ゼミ趣意文（要約）

| | | |
|--------------|------------------|-----------|
| ゼミ名： 山崎ゼミ | チーム名： ポピュリズム班 | 人数： 8人 |
|--------------|------------------|-----------|

概要：

私たちは左派ポピュリズムについて注目しました。ポピュリズムは国家主義・反エリート主義的な右派ポピュリズムが一般とされていますが、社会民主主義を謳う左派ポピュリズムがヨーロッパ各地にて見られます。この右派と左派の違いは何か、なぜ左派ポピュリズムがある地域で盛り上がっているのか、また、この違いを生み出す原因は何か。広く注目される右派ポピュリズムとの比較をしつつ紹介したいと思います。

当日どのようなテーマで議論したいか

左派ポピュリズムについて議論したいです。

| | | |
|--|--------------------|-----------|
| ゼミ名： 姉齒ゼミ | チーム名： 韓国の民主化運動班 | 人数： 4人 |
| 概要： 2018年4月に行われた南北首脳会談では、朝鮮戦争の終戦、非核化に向けた相互努力が宣言され、世界の注目を集めた。この会談の実現に大きく寄与したのは韓国の文政権であるが、政権誕生の背景には100万人のキャンドルデモに象徴される韓国の民主化運動があった。私たちはこのような韓国民主化運動の動向を分析し、日本や中国の立場から国民の政治参加のあり方について考えたい。 | | |
| 当日どのようなテーマで議論したいか 日本・韓国の政治に対する関心の持ちようが異なる要因はなにか 日本人が政治に積極的に参加するために必要なことはなにか | | |

| | | |
|--|--------------|-----------|
| ゼミ名： 堀内ゼミ | チーム名： 貧困班 | 人数： 6人 |
| 概要： 貧困層と富裕層はなぜ生まれるのか？そしてこの2つが日本の経済にどのような影響を与えているか、貧困層はどうしたら減らせるのかを考え、自分たちのような若者がこれからどのように日本を変えていけばいいのか？ | | |
| 当日どのようなテーマで議論したいか 貧困層はなぜなくなるのか | | |

| | | |
|------|-------|-----|
| ゼミ名： | チーム名： | 人数： |
|------|-------|-----|

| | | |
|---|----------|----|
| 富崎ゼミ | 企業・団体献金班 | 5人 |
| <p>概要：</p> <p>私たちは企業・団体献金について注目しました。過去、政治に大きな影響をもたらした政治資金問題が起こったにも関わらず、現状でも起こり続けています。何故汚職をしてまで献金を認めているのか、政治資金は必要なのかを、海外と日本の実態から検討します。</p> | | |
| <p>当日どのようなテーマで議論したいか</p> <p>企業・団体献金が必要なのかについて、議論したいです。</p> | | |

| | | |
|---|-----------------|-----------|
| ゼミ名： 福島ゼミ | チーム名： 日本の石油班 | 人数： 5人 |
| <p>概要：</p> <p>今日、私たちの生活は石油に支えられている事を、みなさんはどれほどご存知でしょうか。身の回りには石油製品や、それを利用している製品は数えきれないほどあります。しかし、現在、生きる上で欠かせない石油が脅かされているという事態が発生しています。そんな中、日本は海外への石油依存度は世界各国と比べても異常なほど高いです。では、日本はどこから石油を手に入れているのか、という問題を分析し、今後日本が安全かつ持続的に石油を手に入れるにはどうしたら良いか考察していきます。</p> | | |
| <p>当日どのようなテーマで議論したいか</p> <p>ホルムズ海峡周辺の国家対立</p> | | |

| | | |
|---|-------------------|-----------|
| ゼミ名： 深見ゼミ | チーム名： 金融リテラシー班 | 人数： 6人 |
| <p>概要：</p> <p>昨今では世界的に金融リテラシーの向上が求められている。日本も例外ではないが、決して高いとは言えない。そこで我々は、日本における金融リテラシーの必要性や金融教育の現状を見つめ直し、「日本における金融リテラシーのあり方」について、及び金融リテラシー向上のための施策について考察する。</p> | | |
| <p>当日どのようなテーマで議論したいか</p> <p>リテラシー問題について</p> | | |

主催：経済学部ゼミナール連合会
後援：駒澤大学、経済学部同窓会
お問い合わせ先

【運営代表】

後藤順基（経済学部 3 年）

E-mail : komazawasymposium@gmail.com

議長ゼミ指導教員 福島浩治

E-mail : fuku730@komazawa-u.ac.jp